



春の陽気にさそわれて  
(グリーンパル・甲佐)

- 基本構想のもと、効率的な行政運営を……………②
- 新役場庁舎の建設場所を決議 (条例・発議から)……………④
- 町長の所信を問う Q & A……………⑥
- 一般質問に5人 あなたにかわり町の考えを聞く……………⑨
- 記念特集 議会だよりアンケート結果……………⑭
- 追跡レポート あれはどうなった……………⑰



# な行政運営を図れ！

## 3月定例議会

### 48億9700万円を可決

平成14年度 当初予算

対前年比 5.8%増



平成十四年度三月定例会は、三月八日に招集され二十二日までの十五日間の日程で開催されました。

今定例会では平成十四年度の一般会計および特別会計予算の審議をはじめ、平成十三年度の補正予算、職員の日当を廃止する甲佐町職員の旅費に関する条例改正や人権擁護委員の推薦同意についてなどすべての議案を原案通り可決しました。

なお一般質問には、5名の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。さらに議員発議による新役場庁舎建設場所に関する決議を行い、豊内地区の多目的運動広場とすることを決定しました。

#### 町長の提案理由説明

#### 財政依然厳しく、税収・交付税の落ち込みは 財調基金取り崩し・臨時財政対策債で補充

- 1 平成十四年度予算編成の中で国の財政構造改革により財政運営が厳しい状況下となることを踏まえ限られた財源の重点的、効率的な配分に努める一方事務事業の更なる見直しにより歳出のスリム化を図った。
- 2 地方交付税においては段階補正・事業費補正の見直しが行われ1億数千円もの削減が見込まれこの不足額を臨時財政対策債で対応した。
- 3 行政内部においては限られた財源を最大限に活用するため前年度に増して賃金・交際費・報償費の削減と職員の日当を廃止し歳出の削減に努め多様化する住民のニーズに対応していくためすべての事務事業を見直し住民福祉の向上と住環境整備につなげるよう予算措置をおこなった。
- 4



議会風景

# 町の基本構想のもと、より効率的

## 一般会計予算



甲佐町の宝 元気に育て

3

一般会計予算は、対前年比5・8%の増となったが長年の懸案であった町道岩下益城橋線外6路線の改良工事、役場庁舎および生涯学習センター建設に伴う設計委託料等によるものである。これらの財源措置は、財政調整基金、まちおこし基金、庁舎建築基金を取り崩すとともに臨時財政対策債を起こし財政の調整をかけた。

### 議会討論

#### 反対討論

今回の予算については基本的に住民中心の予算になっていない。たとえば庁舎の問題にしても町村合併との整合性にかけて思うし、合併に対する考え方も極めてあいまいだと思う。そういった観点から今回の予算には反対する。

#### 賛成討論

町長が提案理由で述べたとおり税金、地方交付税の伸びが期待できない中、予算編成にあたっては財源不足を財政調整基金の取り崩しまたは、臨時財政対策債に求める結果でありその苦勞は評価できる。今回新年度予算を提案されるにあたり町の基本構想、基本計画との整合性を図りながら提案されたと受け止める予算の中身についても総花主義の予算ならぬよう、また今後の少子高齢化社会、多様化する住民の要望に対する対応など住民の福祉向上に立った生活重視型の行政を目指されたい。



条例・発議



新庁舎の建設が決まった多目的運動広場

新役場庁舎の建設場所を決議

多目的運動広場(豊内地内)に

14年度内に設計業務に着手

利便性・敷地面積・財政面を総合的に判断

新役場庁舎建設にあたり議会では建設場所の決議を行いました。これまで議会側で設けた庁舎建築調査特別委員会の審議結果、ならびに町の住民代表の有識者で設けられた甲佐町役場庁舎建設委員会の審議結果をもとに利便性、敷地面積、財政面を総合的に判断し建設場所については現在の多目的運動広場が最適との判断で議員発議により決議を行いました。なお町は平成14年度の予算で建設の設計費を計上しました。

質疑

町村合併論議の中、新庁舎は必要？

住民サービス充実には新庁舎は不可欠  
生涯学習センターを含めた建設を予定

Q 今回、庁舎建設の設計委託料が予算化してあるが町村合併をやる方向であれば、わざわざ庁舎を建設する必要はないと思うがどう思うか。

A 合併しても住民サービスを充実させる為の拠点は必要であり生涯学習センターを含めた住民の施設を考えている。

Q 建設地は営林署跡地であり財務局からの払い下げによるものだが当時の購入目的から変更する場合は一定の期間が必要となると聞いていたがその点はクリアできたのか。

A 多目的運動広場建設の目的で当初買収しており、役場庁舎建設においては目的変更を森林管理局に改めて申請しなければならぬが、庁舎となれば町の拠点施設でもあり許可がおりるとの口頭の協議がなされている。

# 竜野校区の

## 介護予防拠点施設に旧竜野JAを整備

### 条例・発議

#### 財源の一部に地域福祉基金 2155万円を取り崩し



風せんバレーを楽しむお年寄り

**Q** JA竜野跡地の遊休資産の活用に端を発し介護予防の拠点施設として今回地域福祉基金の処分を提案されている。白旗校区を考えると、白旗校区を考えると、明確な方向性が見えておらず振興計画では、15年度での存目処置に留まっている。町長の拠点整備に関するの考えを聞きたい。

**A** 介護予防拠点施設の整備については白旗校区が残っているが、これまでは施設の改修の方向で検討していたが国の支援が新築も出来ることになり緑川保育所の周辺地に考えている。

**Q** 竜野のJA跡地については当初、改修予定だったのが新築することに変更されたわけだが、この財源等についてはどのようになっているのか。

**A** 今、高齢化社会を迎え、福祉の整備が全国的に遅れている。国もそうしたことで支援を考えている。今回は、本体工事の85%、90%が国の補助によるものである。

## 一般職員の旅費の日当を廃止

### 甲佐町職員等の旅費に関する条例の一部改正

**Q** 日当の廃止について郡内の他町村の動向はどうか。また予算的などの程度差額が生じてくるのか？

**A** 郡内のある町村では、日帰り日当については14年度から全廃されたと聞いている。他の4町村の出張旅費については日当の改正はないが、すべて公用車での出張を前提に行われている。また実施すれば約600万円の削減が図れることになる。

### 窓口は農政課

## 農業研修センター（ろくじ館）の管理は青空運営委員会に委託



4月1日にオープンした「ろくじ館」

甲佐町農業研修センターの設置・管理・及び使用料に関する条例を制定しました。この施設は県宮の中山間総合整備事業で建設したもので3月に県から財産の譲与を受け、施設の管理・使用料等を定めたものです。使用料は研修室・和室会議室共300、500円/時間、調理実習室500、1000円/時間、多目的ホール500、1000円/時間となっています。

**Q** この施設開設で目指すものは？

**A** これまでの青空市場では週3回の運営だったが基本的には365日運営をする。自分たちで生産した品物を販売し商店からの仕入品は販売しない。調理実習室を利用して弁当の販売も考えている。JAコーナーの設置も考えている。

# 14年度の町長の所信を問う

## 教育・合併問題等行政全般に質疑集中



サテライトで交流する小学生



## Q & A

各校区で「サテライト」事業が好評

**Q** 生きがい活動支援通所事業委託料が予算化されているが内容を知りたい。

**A** 通称「サテライト」事業については、現在、各校区25名の登録制で実施しており、大変好評である。今後活動を広げていきたい。

シルバー人材センターが発足

**Q** シルバー人材センター運営補助金が計上されたが内容を知らりたい。

**A** 今回シルバー人材センターの人員費補助金として149万円程を予算化した。4月にシルバー人材センターの設立総会を立ち上げ、会員数50名弱で運営される。

委託業務は公平さを期しているか

**Q** ゴミ収集またはし尿処理の委託業者の業務については、公平さを期しているか？

**A** 現在、ごみ収集、し尿処理ともそれぞれ2業者で行っており、ゴミ収集にお



初めての総会で熱心に聞いている会員（シルバー人材センター）

畜産農家への対応策は？

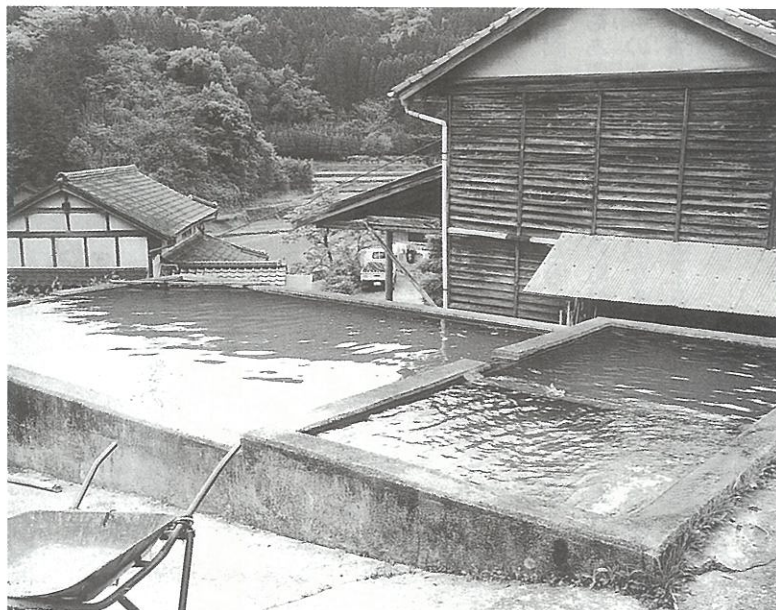
いては、1業者が一般廃棄物、家庭ゴミの収集、もう1業者がリサイクルステーションにおけるリサイクルの収集といったことで業種を完全に分けている。し尿処理については、1業者が甲佐校区、もう1業者が残り4校区を担当しているがし尿と合併処理浄化槽の管理費の率を考えるとバランスが取れているかと考える。

**Q** 畜産農家においては、肉牛や乳牛などの不祥事の関係で相当な被害を受けているがそれらに対する対応策をどう考えているのか？

**A** 昨年9月に、乳用の老廃牛については1頭1万円の計算で53万円の政府助成があった、その後も乳廃牛は1頭4万円、2キロ老廃牛については国に6万円で買上げられる。



定着したリサイクル活動



どうなる宮内校区の水道計画

**宮内校区の水道計画は**

**Q** 宮内校区の上水道事業の今後の進め方をどう考えているか？

**A** 現在、宮内校区には17箇所程度の水道施設があるが、昨年水道事業に対するアンケートと水源調査を実施し

た。それによると3分の1が上水道への要望、3分の1が現状のままでよい、3分の1が現施設の改善という結果であった。今後は、施設の改善、合併を考えながら水源と水量調査を進めていき、その結果を見て宮内校区の水道計画を策定したい。ただし小鹿地区においては簡易水道として今年度に工事費と設計費を計上した。

**町村合併に対する町の今後の方針は？**

**Q** 町長は「地方交付税が減り財政運営がさらに悪化するゆえに合併する方向」と言われるが町民のなかでは、そのことによりサービスの低下や地域性が無くなる恐れを心配されていると思う。郡内の合併問題研究会の進捗具合は見えないが、進めていけば合併の折には安定した生活が出来るような振興計画が問題となる。町長の考えは？

**A** 町村合併には、住民の方も大変関心を持っておられると思う。先般上益城町村合併問題研究会が修了したわけだが現在、いろいろシミュレーションをしながら研究している。今後は住民代表の合併検討会を発足し、議員を含めて研究を続けたい。

**合併計画に伴う新しい町づくりの建設ビジョンは？**

議会を立ち上げなければならない。当然、合併した場合は、旧町村からの建設計画は新町に引継ぐと思うし振興計画の見直しも考えなければならない。

**Q**

町村合併の問題については、町長の枠組み次第では、平成16年度の市制発足も考えられるが、仮にその方向で進む場合は、今年度中に法定協議会の段階まで進んでないとスケジュール的にも間に合わないと思われる。当局の判断も急がねばならない時期に来ている。合併を前提に考えた場合には、次には合併特例債や交付税の様々な財政支援措置に向けた建設計画も作成しなければならぬ。そのようなことからこれまで財政的理由により先送りされてきた事業や逆に前倒ししてでもやらなければならない事業など振興計画の再度見直しをやらねばならないと考えるが、この点、町の考えを尋ねる。

**A**

合併の枠組み次第では言われるとおり非常に急ぐ必要があり本年度中に合併協

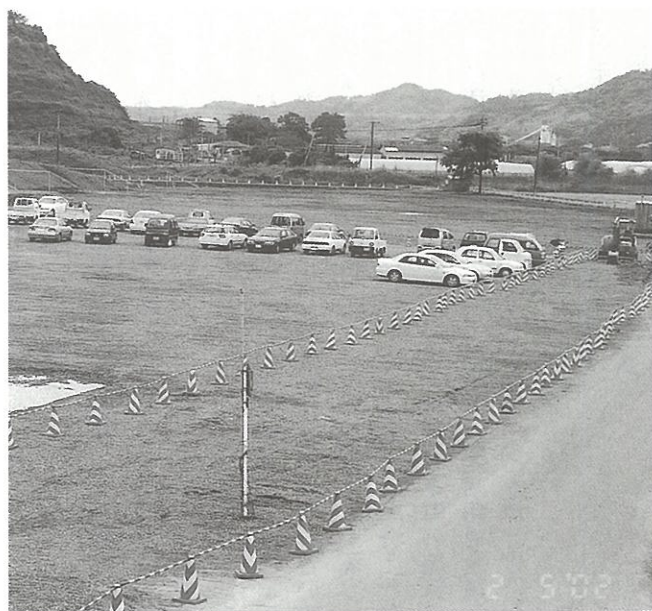
**水辺の交流拠点整備・本年度は平面測量を実施**

**Q**

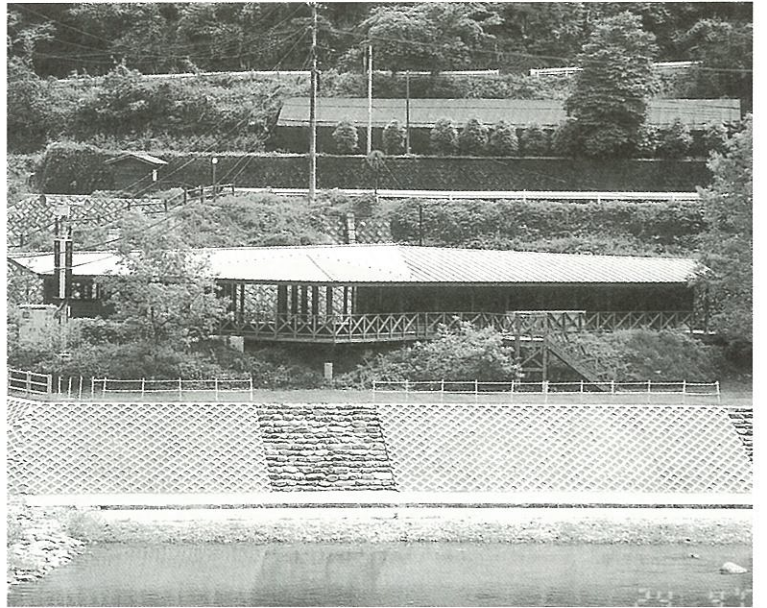
今年度の特定河川環境整備および水辺の交流拠点事業の内容を知りたい。

**A**

特定河川環境整備事業ではまずは、やな場の厨房関係の改修それに安津橋下のグラウンドゴルフ場の旧町道の道路整備を400m行い、また反対側に荒地があるが、その箇所の整地を計画している。また水辺の交流拠点事業では当該地の平面測量を行う予定である。



今後、整備がまたれるグリーンパル甲佐周辺地



対岸から見た川平キャンプ場

### 社会教育施設のPRを図れ

Q

川平キャンプ場の決算見込を聞くと収支バランスだけを考えた場合厳しい財政運営だと思いが社会教育的側面を考えれば違った考えもあるかと思う。ただ町外へのPR等により大いなる利活用を図るべきと考えられるかどうか。

A

川平キャンプ場は、昨年護岸の整備を行い、今年度の進出道整備で大方の整備を終える。今年度から始まる学校週5日制のことも考え子供たちが自ら来れるよう民間バスと町営バスとの運行ダイヤを連結し川平、井戸江キャンプ場の施設利用の増進を図りたい。また安全面も考えインスタラクターを地元から募集したい。

### グリーンパルの今後の施設整備計画は?

Q

グリーンパル(グラウンドゴルフ場)は開設以来、1日平均81名の利用者があり結構なことと思う。今回新たにコースを作るといった話があるがどういった計画か?

A

施設の周辺に荒地があり、今年度は、整地までやり、既設の3コースの利用状況も考慮したなかで今後の整備を考えたい。

### 学校週5日制制度に見直し?

Q

本年度から学校週5日制度が実施されるが、私立の中学校においては「学力低下につながる」ということで現制度を継続させるといふ報道もあっている。それを受け土曜日の補習学習を入れるような話もあっているし教育長の考えは?

A

文部科学省の報道に「これで果たして正常に運営できるか?」と自分自身驚いている。土曜日の補習制度を受け入れれば、全国的に広がると思うし、私立学校においては半数以上の学校が現行制度のままという見解も示されている。本町では原則、週5日制の趣旨の通り実施したい考えだが県教育委員会の通達を検討し方向修正が必要とあらば修正していく考えである。

### 10マイルロードレーステレビ放映のスポンサーに苦慮

Q

甲佐10マイルロードレースは、町の補助金360万円、それに町内の商工業者ならびに県内のスポンサーによって大会の運営が成り立っているが、昨年、実質大会を担当されどのように感じられたか教育長の感想は?

A

大会を担当して率直なところ優秀な選手が参加し新記録もでており、継続して実施するに値する素晴らしい大会だと感じている。本年度も予算付けしており、第27回大会に向け構想を練っている。ただテレビ放映については、今日の厳しい経済情勢を反映し、スポンサー探しに苦慮しており、課内では放映する考えはあるが十分検討する必要があると考えている。

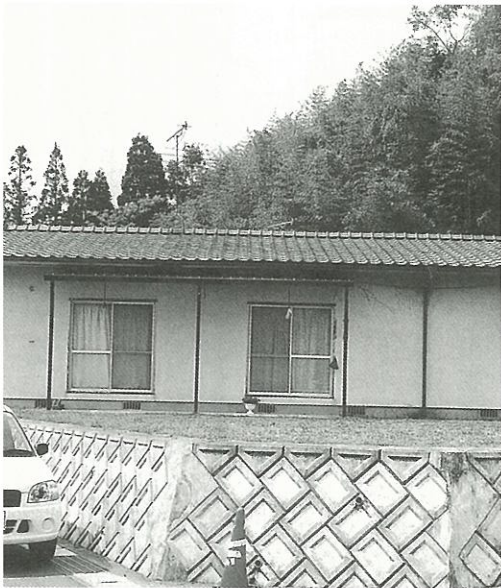
### 教職員住宅地の有効活用を検討してはどうか

Q

教職員住宅は昨年も入居者は1人で残り3戸は空室のままである。理由を考えると施設は老朽化し、また熊本市内からも学校までは通勤距離内にあるといったことが原因かとも思う。そのようなことを考えたときに、当該地を町の施策に関連した有効活用も今後考えてみてはどうかとも思うが町の考えは?

A

教職員住宅は入居者が少ないということで指摘を受けたが道路問題も含め検討したい。



有効活用が望まれる教職員住宅





# 一般質問

# 答弁

佐藤 義郎 議員

合併のメリットがあるのか  
行政運営上、考えなければならない

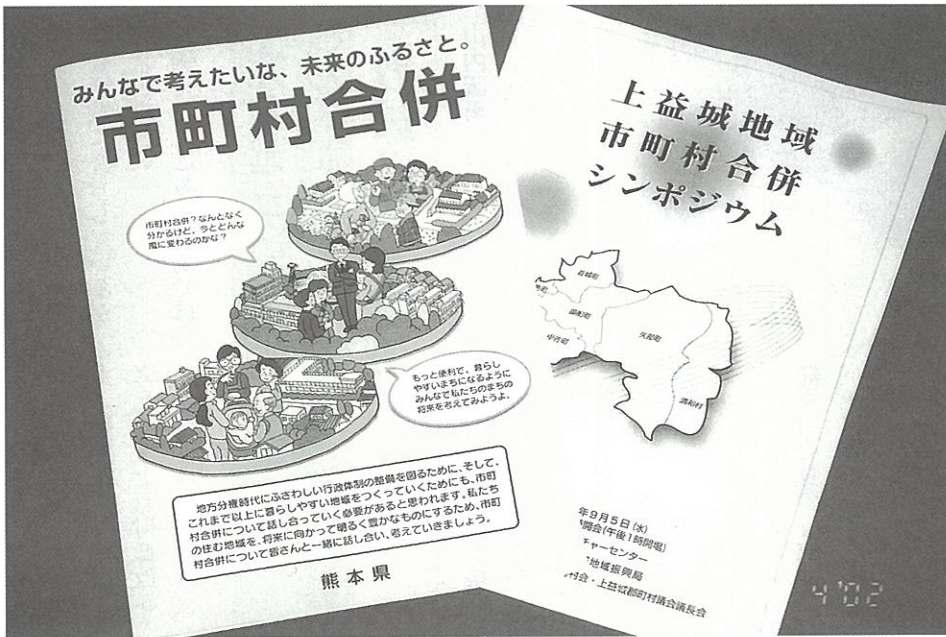
佐藤議員

新聞報道によると、嘉島、御船、甲佐による3町合併に賛成だという意思表示をされ、益城町は、未定だと報道されている。

町長 国は、今後も交付税を削減してくるし、県の補助金も減少する。このような現状から、住民の求めるサービス水準の低下を招かないためにも構造改革を実施し、事業の重点化と歳出の削減を考えるが、今後の行政運営を取り巻く環境は、大変厳しい。

町村合併については、郡内で3回にわたり、研究会を行った。現在も勉強中であるが、今のところ4町での枠の研究を進めたい。今後どのような形でやるのか、住民の意見を聞く必要があるので住民座談会を開く予定だが、行政運営上、

合併を考えなければならぬ。国が交付税を削減するから、合併を考えるとわれるが、国の借金の返済は、政府の責任であり、町への削減そのものが問題である。地方は、地方の住民の意



動き出した町村合併問題 (写真は県で作成された資料)

思に基づいて地方自治制度を確立している。そういう地方自治制度を踏みにじったやり方には、断固反対すべきであり、合併する理由にはならない。

町長

政府の考え方を考えることは、できない。国の施策であり、平成17年までの合併には、合併特例法がある。合併によりパイを大きくし、住民1人あたりのコストを下げるのが重要である。

佐藤議員

合併すれば、コストが安くなるのか？ 合併の方針には、自治能力の向上、地方行政の構造改革となっているが、何をどう構造改革しようというのか？

御船、嘉島、甲佐と一緒に、特別に何か新しいまちづくりができるのか、見通しがあるのか。21世紀の新しいまちづくりのビジョンはあるのか。

町長

町村合併を考える時、交付税の削減、平成17年には、5億減らされたら、到底

佐藤議員

町長自身、住民のためになると考えられるのか、私は、ならないと思うし、国に対して交付税の削減に反対すべきだ。

町長

私は、この状況では、合併は住民のためになると判断した。

山内 勲 議員

町財政の現状と見通しは

町税は横ばい  
地方交付税は減少

山内議員

歳入の重要な位置を占める一般財源の町税、問題となっている地方交付税及び公債比率のここ3ヶ年の推移と今後の見通しは。

税務課長

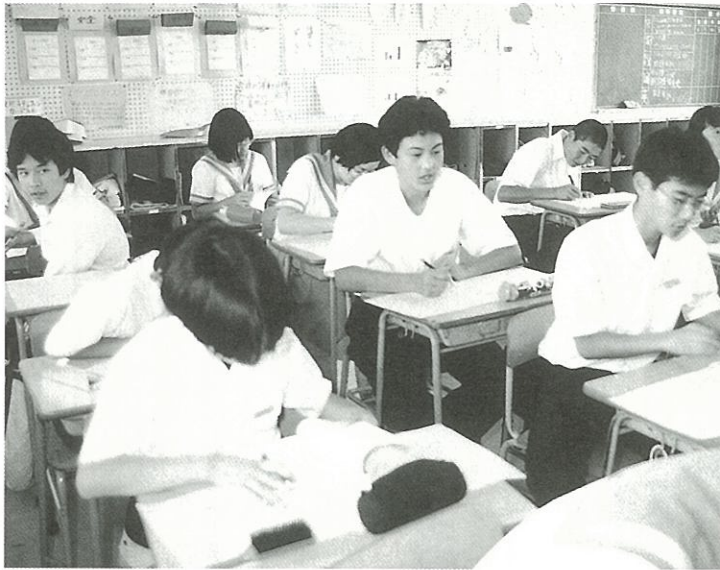
町税は平成12年度は減少したが13年度は、同額を見込んでいます。今後の見通しもほぼ横ばいと思われる。

総務課長

地方交付税は、平成12年度までは前年比増で推移したが、平成13年度で1億1千万円減。平成14年度以降も更に減少すると思われる。公債比率は、ここ3ヶ年間11%前後で推移しているが、今後は起債の返還等の増加で上昇が予測される。

山内議員

税収は伸びない。交付税は減少する。更に公債比率が上昇となれば、財政構造は硬直化しているといわざるを得ない。しかし、このような厳しい財政状況においても町民のニーズは、年々高まっている。今後の行政運営の見通しは。



中学校の授業風景

町長

行政改革を行いながら、経費節減に努力しているが非常に厳しい。例えば、ごみ焼却場では

3町が合併した場合、大幅にコストダウンできる。また、合併や更に民間委託等考えるなど行財政改革を進めたい。

完全週五日制と  
学力に対する不安への対応は  
教員の増を要請する

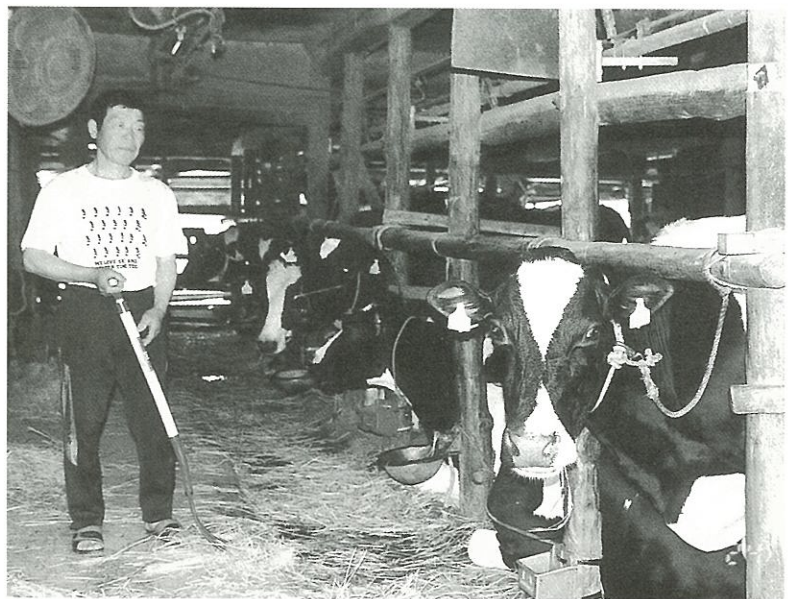
山内議員

4月からの新学習指導要領に基づく、学校週5日制の導入と教科内容3割削減

及び総合学習の本格的導入について、子どもの学力の低下を心配する保護者がいる。教育行政の基本方針とその対応を明らかに。

教育長

学校と家庭そして地域社会との連携を図りながら、健全な心身の育成と学力の向上に努め、郷土を愛し、環境保全に努める人間の育成を目指したい。また、生涯学習を展望した教育指導を推進していく方針である。具体的には、独自の学力充実推進校の指定校を設けたり、チームティ칭ングや少人数学級等をおこなうための教員の加配を要請していきたい。その他教育審議員の任用など最善に努めたい。



悩みを抱える畜産農家

BSE(狂牛病)の  
風評被害への支援は  
国に上乘せし、支援したい

山内議員

BSE(狂牛病)の風評被害は、深刻を増し、畜産農家の実態は厳しい。畜産農家への支援策はいかに。

農政課長

乳牛の老廃牛に対する国の助成にあわせて、町単独分を補正し、支援したい。今後は、JA上益城からの要望もあり、繁殖牛についても支援したい。

北畑常博 議員

「花と緑と鮎の町」で  
町づくりを

村自慢運動をおこしたい

北畑議員

町長は、町政を司られて3期目で、残り1年足らずをどのように仕上げて行かれるか。

町長

私の任期中は、安全・健康・福祉・環境の四つの問題を掲げて全力を尽す。

北畑議員

我が町には3つのキャッチフレーズがあるが、この3つの環境についての考えを尋ねたい。

町長

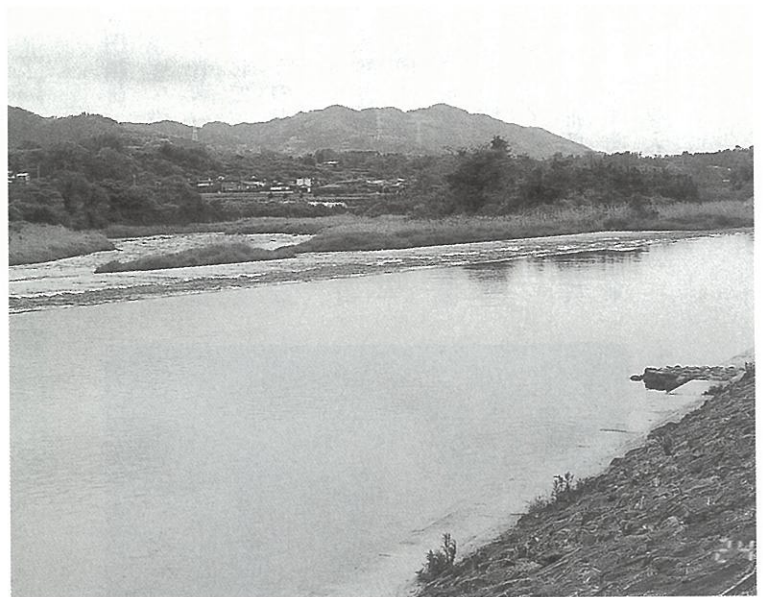
「花と緑と鮎の町」で、花については、本町は花卉園芸が盛んであります。そのような環境の中で花を中心として美しいまちづくりをするという意味が含まれている。緑は広大な甲佐町の自然、鮎についてはきれいな緑川を残すという意味がある。

北畑議員

その3つの中で、花についての提案で、甲佐町には植木屋さん、切り花の村、またグリーンセンター等があり、その方々の協力を得ながら、花公園などの町のシンボルを作ったらどうか。

町長

地域住民の方々とともに考え、村自慢運動というものを、起こしたい。



町を縦断する緑川

緑川の水質調査を  
町独自で実施  
研究したい

北畑議員

町が大井手川の水質調査はやっておられる。また緑川本流では、国土交通省の予算がついているのはありがたいが、当初町独自で予算をつけて調査すれば、まだまだ緑川はきれいになるのではないか。

町長

環境基準の水質については、国交省が緑川につき8地点で調査している。平成12年に比べ水質は良好な結果となっている。御指摘の独自でということについては研究したい。

北畑議員

甲佐町のシンボルとしてやな場が改修されている。またやなの取水口のずい道の上に車を通さないで、堤防の手前のカーブから上流にむかって橋を作れば良いのではないか。

町長

御指摘の所は、既に国土交通省の方に、堤防を築く申請をやっている。

甲佐高校の周辺整備を  
県との折衝を

北畑議員

中高一貫教育については、よそに立ち遅れたが、これから先、能力の充実、甲佐高校のグラウンドを広げたり、中学校の改修等についてどのように考えておられるか。

教育長

今後甲佐高校と中学校とは連携を深めながら、質の向上、発展のために町も寄与していく。甲佐高校の運動場については、校長先生は県の指定地であるから、広げる話をしていただければありがたいということだ。

また学校の老朽化については、分析をしながら将来の構想の計画等あたりの目安が分かれば早急に取り組みたいと考える。

北畑議員

町の熱意を見せれば高校周辺整備、また道路問題の解決が図られるのではないかと。

町長

充分県のほうに折衝してから考えたい。

他に、町村合併問題、BSE（狂牛病）についての質問がありました。

本田 新 議員

### 子供の余暇対策をどう考える？

#### 地域リーダーを育てる 具体策を研究する

本田議員

教育改革の一環として、週五日制が導入されるにあたり、余暇対策、学校外の活動が重要だと思いが、教育委員会としては、先に保護者や子供たちにアンケートで意見を聞いておられる

溜瀕教育長 学校外活動について、どうあればいいかを問うたもの一部ですが、地域や公民館で催される行事に、「参加したい」「時々した

ので、その結果をふまえた対応策をお聞きしたい。

溜瀕教育長



心も体も健やかに

い」というのが小学生では80%、中学生になると44%、「参加したくない」が50%以上にふえている。

このことから中学生や高校生がリーダーの役割を担って、地域で活動出来るよう教育することが、大事と思いい、具体策を研究中である。

本田議員

総合的の地域スポーツクラブとでも言うべきものを創設して、大人と子供の交流をはかって行く、そのためには一定の財政措置が必要だと思いが。

町長

教育長と検討してみたい。

### 学校評議員制度の導入を

#### 平成15年 4月からの導入を目指す

本田議員

家庭・学校・地域が協力して教育に力を入れる具体策として、学校評議員制度というのをとり入れてはどうか。

溜瀕教育長

地域に開かれた学校づくりをするために、校長が保護者や地域の方々の意見を幅広く聞くための制度で、学校長が推薦し、教育委員会が委嘱する。本町では来年度から導入の予定だ。



少なくなった新入生

### 地域福祉に対する町の考えは？

#### 総合的な福祉計画を 作成したい

本田議員

障害者福祉は、施設入所を中心に行われてきました。が、障害者である前に人間であるという運動が広がり、地域福祉のあり方が問われている。ノーマライゼーションに対する町の考えは、健康福祉課長

デンマークの知的障害者の親の会から始まった運動で、

本町でも今、障害者プラン・高齢者対策・エンゼルプラン、これらを、総合的にした福祉計画を作成したい。

健康福祉課長

デンマークの知的障害者の親の会から始まった運動で、

社会的に不利な障害者や高齢者を特別視することなく、社会生活を普通に、自然にやらしてもらおうという理念です。

### 少子化対策は

#### 気軽に相談できる場所の 設置を検討したい

本田議員

本町の出生者は80人を切っている。いわゆる今の中学生の30数%の減となる。これは産前産後の子育ての休暇制度があっても、とるのは難しいという状況で子育てのための支援体制を充実させる必要があると思われ。

この悩みや不安解消に「集いの広場」というネットワークがあるが、町長この点どう考えるか。

町長

「集いの広場」ネットワークがあるということですが、参考にして考えてみたい。

県のモデル事業で、子育て

中村 幸男 議員

固定資産税は正しく課税されたか？  
寄付行為による登記分は税の減免等に対応

中村議員

上豊内横田線、通称裏町通り、この道路については、35年から38年にかけて、地権者の寄付行為により道路拡幅が行われたが、今もお、固定資産税を払っていると聞くが、どうなのか？

税務課長

通常、課税する場合、例えば国、県、または事業課の買収や寄付行為でなされた時は、まず登記、分筆される、その行為がはっきりしていれば、固定資産、土地については、減免もしくは、免除という形で対応している。

中村議員

事例として、地籍の調査の段階で筆界未定というところで、自費で地籍測量を行い、法務局より税務課を通じて、本年も固定資産税が課税されている。是正できないか？

税務課長

その件について、自分達で境界点を確定され、登記された分については修正をし、5年間分を還付するような手続をとっている。

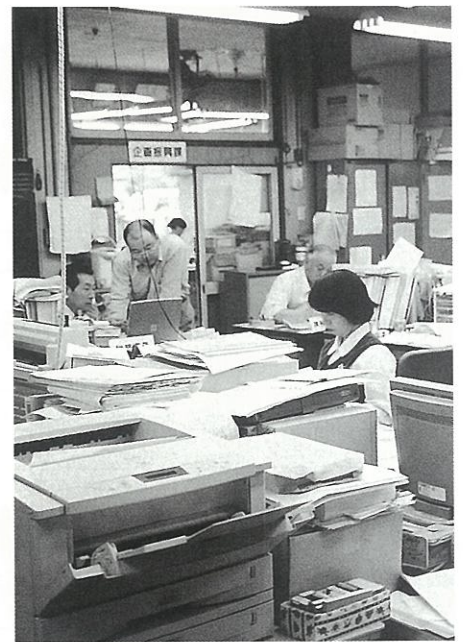
児童公園の整備計画は？  
慎重に考えたい

中村議員

「花と緑と鮎の町」にふさわしい児童公園を兼ねた町のキャッチフレーズを出せるような公園づくりを進めようか？

町長

先日行ったPTA、子供のアンケート調査で児童公園の要望が非常に多かったが、事故等を考え慎重に考えたい。



役場の仕事風景

町職員の代休消化の実状は？  
社会教育課では二割程度が未消化

中村議員

町職員の代休、土曜、日曜、祭日に出勤して、代休を取れない課があるか？

社会教育課長

日曜、土曜に勤務したのは、8名の職員で半日勤務が94回、1日勤務が106回となっている。振替日が通常の事務に影響を及ぼす場合もあり、振替日の消化率は社会教育課内で約8割、2割程度が消化できていない。

教育長

学校、社会教育の課内において、行事調整会議を行

い、出席の調整をしているが、通常勤務に及ぼす影響があるため、振替日に代休が取れないのが実情である。今後充分、代休が取れるように検討したい。

中村議員

他町村では、交通事故防止対策要綱などを設置し、もし職員に事故が発生した場合、それに基づいた処分をとっておられるようだが、本町ではどうか。

総務課長

そういう例が出た場合、県条例を参考に処分を行って来た。

庁舎移転後の跡地利用を考えよ

活性化につながる跡地活用を進める

中村議員

新庁舎が完成する頃、岩下益城橋線の道路が開通すると思うが、市街地の商店が店を閉めなくてはならない状況になるのではと、心配する声を耳にする。庁舎移転後、現在の跡地の活用はどう考えているのか？

町長

充分市街地の活性化につながるような跡地活用を進めたい。



活性化がもたれる商店街

# 議会だよりに関する アンケート結果



議会だより「清流」は今回で100号に到達しました。昭和52年の創刊以来、甲佐町の議会政治の実態や課題などを25年間町民の皆さんにお伝えして来たことになり、発行する側からすると、皆さんの反響を確かめながら、自分を映し出す鏡として活用してきたものです。

こうした節目で、今後の紙面作りはどうかあるべきかを知るために、議会はアンケート調査を実施。

調査は、1月末から2月にかけて行い、配布数3703枚に対し、1557枚の回答を得ました。

〈表1〉

	回答数 (人)	割合 (%)	左の年代別の割合 (%)					
			40歳未満	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上	年齢不明
<b>あなたは、甲佐町議会だよりを読んでいますか。</b>								
読んでいる。	927	59.5	41.2	62.7	60.3	66.7	63.9	42.3
時々、読んでいる。	547	35.1	52.9	37.3	39.7	33.3	28.3	36.5
読んでいない。	27	1.7	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<b>あなたは、甲佐町議会だよりについて、どう思いますか。</b>								
ためになると、思う。	1,081	69.4	52.9	74.5	70.5	84.6	75.9	51.9
余り、ためにならないと、思う。	78	5.0	0.0	5.9	10.3	0.0	3.0	3.8
どちらでも良い。	317	20.4	47.1	19.6	12.8	10.3	18.1	23.1
全く必要が無いと、思う。	8	0.5	0.0	0.0	1.3	0.0	0.6	0.0
<b>あなたは、甲佐町議会だよりで、何のページを良く読んでいますか。</b>								
「最初」のページ	781	50.2	58.8	45.1	46.2	51.3	60.8	30.8
「QアンドA」のページ	675	43.4	64.7	62.7	47.4	48.7	45.8	32.7
「一般質問」のページ	1,043	67.0	47.1	54.9	69.2	71.8	83.1	51.9
「傍聴席から一言」のページ	566	36.4	29.4	33.3	43.6	46.2	40.4	28.8
「編集後記」のページ	355	22.8	35.3	19.6	19.2	30.8	30.7	9.6
「最終ページ」	353	22.7	23.5	19.6	19.2	38.5	24.7	15.4
<b>甲佐町議会だよりを今後続けるためには、どうすれば良いと感じますか。</b>								
今のままで良い。	872	56.0	35.3	56.9	57.7	71.8	64.5	42.3
もっと記事を詳しくすべきだ。	322	20.7	41.2	23.5	14.1	20.5	13.9	19.2
分かりやすい文章にするべきだ。	240	15.4	11.8	25.5	15.4	10.3	16.9	15.4
その他	27	1.7	5.9	0.0	2.6	0.0	1.8	0.0

まず、読んでいるかどうかでは、「読んでいる59%」と、「時々読んでいる35%」の合計が94%に達しました。また、読んではからの受け止め方については、「ためになる」が69%でした。

これは、約9割の方が愛読しておられ、その7割に好感を頂いていることとなります。

これらの傾向を年代別に見ると、40歳未満で比較的読まれておらず、受け止め方も「どちらでも良い」という低い評価を受けました。逆に、60歳以上の年代においては良く読まれていた上に、「ためになる」と高い評価を受けました。

次に、どこを読むかについては、40歳以下では「QアンドA」を良く読まれているのに対して、50歳以上では「一般質問」に興味が高いのが分かりました。

今後のあり方については、60歳以上に「今のままで良い」との指示を受け、40歳以下には「もっと記事を詳しくすべきだ」との注文を受けた結果になりました。

トップは

# 議場に行けないから重宝している

寄せられた多くの注文

アンケートではご意見も伺いました。好意的な意見から極辛の意見まで、134件の意見がありました。134件の意見が、ここでごく少数のご意見は省いて《表2》で紹介しします。

1番数が多かったのは、重宝している、楽しんでいるというものでした。これは、議会だよりを読んで下さっている方々が、本当は、議場に出かけて議会を傍聴したいのだが、なかなかそうも出来ないのだから、重宝していただいているのではないかと感じられました。

《表2》

	意見の趣旨	意見の数	全体からの割合 (%)
甘口の意見	政策論点・話題・課題がわかる。	20	1.3
	重宝している。楽しんでいる（議場に行けないから）（住民と議会とのパイプ役）	32	2.1
	良い広報誌だ（内容、レベル）	7	0.5
	選んだ人や、個々の議員の活躍がわかる	3	0.2
	読みやすい。分かりやすい。	5	0.3
	写真が良い（表紙）（中身）	3	0.2
辛口の意見	議会になじみが無いから、広報誌も不要だ	8	0.5
	論議のやり取りが、体裁だけだ。表面的だ。住民の声を論議していない。	13	0.8
	議場の雰囲気・熱気が伝わらない	5	0.3
	内容をもっと詳しく、もっと具体的に知らせて欲しい（ページを増やしても良い。）	18	1.2
	内容や文章表現を、親しみやすく、分かりやすくして欲しい。	8	0.5
	知りたいこと、知っておくべきことを知らせてくれ（善し悪しに関係なく）	6	0.4
	まちづくりや集落に関する特集、シリーズ、住民参加型的なものがない	7	0.5
	写真を多く使う。議場の表情や、議員の顔写真を望む	7	0.5
	文字を大きくして欲しい。（点字対応も欲しい）	7	0.5
	議員個々の姿勢・色合いが見えない。はっきりさせて欲しい。	4	0.3
	全ページ、カラーを望む	3	0.2
カラーは不要だ（経費削減できる）	5	0.3	

2番目は、議会だよりでは甲佐町の政策や論議の焦点、課題がわかるというものでした。

3番目に多かったのは、記事の内容に関するもので、「内容をもっと詳しく」、「もっと具体的に」でした。議会だよりには紙面の都合や公平性の観点から、質問や回答の全部を紹介できない「制約」があります。このことに対する不満は日常的に議会に届けられていたところですが、今回のアンケートでもこの不満が浮き彫りになりました。

4番目は、紙面からは議場のやり取りが体裁的であり、表面を取り繕っているという辛口のご意見でした。

こうした多くのご意見は、次の200号を目指す議会にとって、忘れることなく永久保存される記録となりました。

## 100号記念にあたり



議長 境 国嗣

記念すべき甲佐町議会だより「清流」100号を発行出来ましたことは、歴代の議員の皆様のご努力と町民（読者）の皆様のおかげだと感謝申し上げます。本町の議会だよりは県内でもいち早く発行されております。議会の歴史は本町の歴史でもあり、様々な議論があり、様々な決議がありました。議会だよりの役割は議会の内容、活動をわかり易く町民の皆様に伝えることであり政治を身近なこととして考えてもらいたいと思っています。

現在発行している「清流」については全議員の協力と広報委員の研鑽と努力によりたいへん読み易い紙面になっており、またコンクール等にも入選し県内外からも高い評価を得ています。今後とも町民の皆様に親しまれる議会だよりの作成に心がけ議会と町民のかけはしとなる様一層の努力を重ねてまいります。100号はひとつの通過点であり議会の歴史の一ページに過ぎません。完結のないページを着実にひとつひとつ作りあげ、未来につなげたいと気持ちを新たに頑張りたいと思います。

## 議会だよりのあゆみ

本町の議会だよりの歴史は古く当時の議員の努力により昭和52年に創刊され、今回をもって100号となった。創刊から58号までは一般質問を中心とし新聞形式のB4版で発刊されたが、時代の流れと共にサイズの変更や行数、文字数の変更を行って現在に至っている。

議会だよりの編集にあたっては毎年研修を重ね、先進地の議会だよりを参考にしたり研修会で研鑽をしてより読者の皆様に親しまれ読みやすい紙面づくりを心がけている。

### 議会だよりのあゆみ

- 昭和52年 創刊号 B4版、9段、53行、14文字  
6月定例会が初刊「甲佐町議会だより」
- 平成4年 第59号 サイズと名称の変更  
B5版、5段、32行、14文字「清流」
- 5年 63号 表紙をカラーに  
特別号 「公営競技サービスセンター誘致について」
- 6年 67号 サイズの変更  
A4版、5段、33行 13文字
- 9年 80号 「傍聴席から一言」コーナーを加える
- 10年 84号 A4版、6段、33行、12文字に変更  
85号 熊本県議会広報コンクール入選  
12年 93号 熊本県議会広報コンクール努力賞



創刊から今日までの議会だよりの変遷

祝  
100号記念おめでとう



赤星 脩

当時、甲佐町議会だよりとして創刊号発行時から約10年間、事務局長として編集やレイアウト等、お手伝いした者として100号を迎えることに感慨無量です。

当時、県下87町村中、議会だよりが発行されていた町村は、南関町、松島町、田浦町として本町の4町だったと記憶します。いずれの町も発行の理由は、議会の審議内容を住民に知らせることを目的としています。甲佐町では、特に一般質問での執行部とのやりとりについては詳細に知らせよう努めたつもりですが紙面の都合で一部割愛を余儀なくされる等、苦心したものでした。近年色々と広報活動が盛んになり広報誌を見る側としては広報誌の統合の声も耳にしますが、あくまでも議会の広報誌は、執行機関が発行する広報誌とは、おのずと性質を異にすると思います。議場において意思決定機関たる議会と、行政の執行機関の長との政策論争過程を広報誌を通して住民に知らせるところにその使命があると 생각합니다。現、議会だより「清流」は、そう言う意味で十分使命が果たされていると思います。

今後とも一層のご研さんと甲佐町議会のご繁栄ならびに議員各位のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、100号記念に寄せるお祝いの言葉とします。



# 追跡

## あれはどうなった

本議会は、町と地元住民と共に熊本市武蔵ヶ丘に本社を持つ星山商店の産業廃棄物処理施設の拡張計画に対して「同社が町と結んだ環境協定に違反し、事前協議なしで拡大を計画している」として事業中止を求める意見書を提出したことは、本誌第99号（1月31日発行）でお伝えしましたが、同社は、（2月22日付）地元住民の要望を尊重し、計画を取り下げました。今後は、「既存施設の改善を進め、地域に信頼される運営に努めたい。」としています。

### 拡張計画を取下げ

麻生原の産廃処理場



## 人権擁護委員



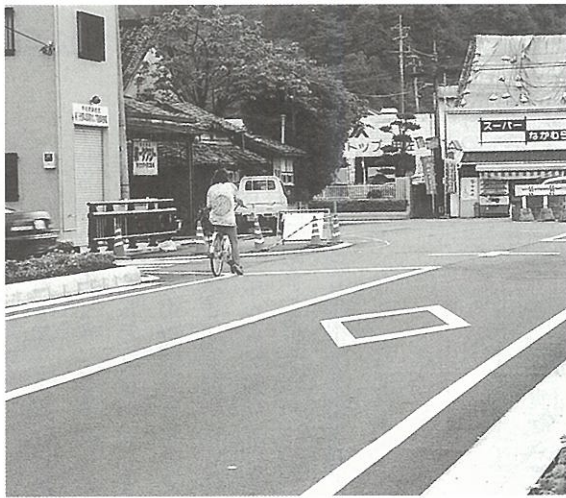
松野理一郎  
甲佐町糸田1178番地

本町には、4名の人権擁護委員が法務大臣から任命されていますが、2名の方が9月30日で任期満了となるため、3月定例会におい



柴田壽美子  
甲佐町上早川1019番地 1

て糸田の松野理一郎さん（再任）と上早川3区の柴田壽美子さん（新任）を推薦することで同意可決されました。



## いつ完成 岩下益城橋線は

議会では何回となく質問がでて、町道岩下益城橋線の進捗状況について調べてみました。本線は、既に国道との交差点協議も終え、平成17年4月の全面開通を目標に工事が進められています。

現在の進捗状況は、平成13年3月末現在で、予定総工事費1、139百万円に対し、608百万円（53・4%）、対象距離671mに対し、531m（79%）が完成しました。

また、益城橋の架替工事も熊本県の土木部（代行工事）が平成17年4月の完成を目標に進めています。

議会では、町活性化のためにも、一日も早い完成を望んでいます。



第 1 回目の合併検討委員会（4 月12日）

# 合併問題の 検討はじまる

これまでは、郡内の各首長、議会議長および熊本県上益城振興局で組織する上益城地域町村合併問題研究会で

これを受け、町は、第1回町村合併検討委員会を3月定例会後の4月12日（金）に開催しました。

① 合併した場合、どのような利点が見込まれるのか。

町村合併は、住民の福祉の向上など住民にとっても大事な問題です。

② また、どのような不利益が見込まれるのか。

この検討委員会は、議長を会長とし、議員全員が委員としての委嘱を受けています。

③ 合併する場合のスケジュール。

議会人として積極的に参加し、検討を重ねていく所存です。

## 傍聴席から一言

# 学校週5日制について



上早川 松岡 泰 徳

平成14年度から完全週5日制が実施されました。学校週5日制は、学校・家庭・地域社会の役割を明確にし、それぞれが協力して豊かな社会体験や自然体験などの様々な活動の機会を子供たちに提供し、

自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むことを目的としています。しかし、現実には、様々な問題があるのも事実です。子供たちの学力が低下するのではないかと子供たちの生活が不規則になるのではないかと。保護者が家庭にいない場合はどうしたらよいか。そして、子供たちに何をさせたらよいか。私も小学校6年生・2年生の子供を持つ親として、このような問

題点に対して明確な解答は持っていませんが、ただ、問題点の多くは、保護者からの観点であり、主体である子供たちの思いがどうなのか欠落しているのではないのでしょうか。まず、子供たちの意見ありき、そして、家庭で子供たちとよく相談し、一緒に考えてあげる。そういった中から、学校・PTA・地域、そして行政に働きかけ、要望するのを明確にし、町全体で子供たちを育てるといった教育の循環をはかるのが大切だと思っています。

## 受賞

### 熊本県議長会表彰

さる2月21日熊本県市町村自治会館で行われました熊本県町村議長会総会において、本議会から議員2名が永年勤続表彰を受賞され、3月定例会の閉会日に、その表彰伝達式が行われました。

して行われるもので、本議会から岩村辰雄議員、北林誠楠議員が表彰されました。



北林誠楠議員



岩村辰雄議員

## 編集後記

5月の空にさわやかな緑の風が、吹流しを揺らす今日この頃、みなさまには、お健やかにお過ごしのことと拝察いたします。

先日の議会広報に対するアンケート調査には、お忙しいなかご協力いただき、心から感謝申し上げます。調査の結果では、町民ほとんどの人が議会広報に関

心を持って読んでいただいているとのことでした。広報委員にとって大変うれしいことです。今後も町政に大いに心を深めていただくため、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに努めるつもりです。

みなさんのご助言とご指導をよろしく願います。